

## 「生体防御のメカニズム」

平成8年度採択研究代表者

谷口 克

(千葉大学大学院医学研究科 教授)

「自己免疫制御の分子基盤」

### 1. 研究実施の概要

- ① NKT 細胞のリガンドがスフィンゴ糖脂質であり、NKT 細胞を活性化し、極めて強力な抗腫瘍活性を出すことができる。さらに種属に一種類しかないモノモルフィックな CD1d 分子によって提示を受けることから、一つのリガンドをすべて共通に投与できる点で治療までの開発研究の可能性を示した。
- ② CD3 ε - V $\beta$  8 TCR+ NKT 細胞前駆細胞を同定した。この前駆細胞から成熟型 NKT 細胞へ分化させる最終段階には GM-CSF 受容体からのシグナルによってアルファ鎖遺伝子再構成が起こる事を証明した。

### 2. 研究実施内容

#### (1) V $\alpha$ 14 受容体構造研究グループ

V $\alpha$  14NKT 細胞抗原受容体リガンドは  $\alpha$ -ガラクトシルセラミド( $\alpha$ -GalCer)であることを証明したが、構造的な特徴であるスフィンゴ脂肪の 3 位の OH 基が CD1d 分子 a2 ヘリックスの 153Asp への結合および糖鎖 2 位の OH 基 179Arg あるいは 180Asp との結合に重要であることが、コンピューターグラッフィックスからも確かめられた。

#### (2) V $\alpha$ 14 受容体遺伝子進化研究グループ

##### ① V $\alpha$ 14 受容体塩基配列

哺乳類 21 純系マウス、野生マウス、ラット、ハムスター、ヒトなどにおける V $\alpha$  14 受容体遺伝子の塩基配列を決定し、変異部位を特定するとともに family tree を書き、祖先 V $\alpha$  14 受容体の配列を調べた。

##### ② V $\alpha$ 14 遺伝子とダーウィン選択

ある種分化で V $\alpha$  14 受容体がダーウィンの選択仮説に当てはまる分子進化を遂げていることを見いだした。

#### (3) NKT 細胞機能研究グループ

NKT 細胞のリガンドがスフィンゴ糖脂質であり、NKT 細胞を活性化し、極めて強力な抗腫瘍活性を出すことができる。今年度は樹上細胞にリガンドをパルス

し、担がん動物に投与するとすでに成長したがん塊にも効果を発揮し、治療法開発への期待ができた。さらに種属に一種類しかないモノモルフィックな CD1d 分子によって提示を受けることから、一つのリガンドをすべて共通に投与できる点でも治療開発研究の可能性を示している。

#### (4) NKT 細胞初期分化研究グループ

CD3 ε - V $\beta$  8 TCR+ NKT 細胞前駆細胞を同定した。NKT 細胞前駆細胞は GM-CSF 受容体を細胞表面に持つことを発見したが、これは NK 細胞や T 細胞と区別する重要なマーカーとなるとともに、この前駆細胞から成熟型 NKT 細胞へ分化させる最終段階には GM-CSF 受容体からのシグナルによってアルファ鎖遺伝子再構成が起こる事を証明した。

### 3. 主な研究成果の発表（論文発表）

- Kawano, T., Cui, J., Koezuka, Y., Toura, I., Kaneko, Y., Sato, H., Kondo, E., Harada, M., Koseki, H., Nakayama, T., Tanaka, Y., and Taniguchi, M. NK-like nonspecific tumor cell lysis mediated by specific ligand-activated Va14 NKT cells. Proc. Natl. Acad. Sci. USA 95:5690-5693, 1998.
- Burdin, N., Brossay, L., Koezuka, Y., Smiley, S. T., Grusby, M. J., Gui, M., Taniguchi, M., Hayakawa, K., and Kronenberg, M. Selective ability of mouse CD1 to present glycolipids: α-galactosylceramide specifically stimulates Va14+ NK T lymphocytes. J. Immunol. 161:3271-3281, 1998.
- Tetsu, O., Ishihara, H., Kannno, R., Kamiyasu, M., Inoue, H., Tokuhisa, T., Taniguchi, M., and Kanno, M. mel-18, a polycomb group gene, negatively regulates cell cycle progression upon B cell antigen receptor stimulation through a cascade leading to c-myc/cdc25. Immunity, 9: 439-448, 1998.
- Sumida, T., Maeda, T., Taniguchi, M., Nishioka, K., and Stohl, W. TCR AV24 gene expression in double negative T cells in systemic lupus erythematosus. LUPUS, 7: 565-568, 1998.